

令和5年度 東陽中学校の教育について

1. 学校教育目標

「自ら考え、共に磨き・深め合い、自信をもって表現できる生徒の育成」

2. 校訓とめざす生徒像

「自主」 真理を追究する生徒

「友愛」 自然や人を愛する心豊かで、協力する生徒

「忍耐」 強くたくましく意思力をもつ生徒

「健康」 健康で活力ある生徒

3. めざす教師の姿

- ・自己研鑽に励み、授業で勝負する教師
- ・生徒、保護者、地域から信頼される教師
- ・生徒のやる気に火をつける教師

4. めざす学校像

【魅力ある授業】「確かな学力」を身につけさせる授業改善

- ・一人一人の生徒が自ら考え、対話することで考えを深め合い、知識を関連付けてわかりやすく自信をもって表現する力の育成。
- ・「主体的・対話的で、深い学び」をよりいそう向上させる工夫。
 - * 「思考・対話・個別学習ツールとしてのタブレット端末の活用」
 - * 「新学習指導要領の着実な実施」
 - * 「基礎基本の定着」

【教職員の和】「組織」として「協働」できる集団

- ・教職員相互の良好な人間関係を構築し、一人一人の教職員が本来持つ力を発揮するために、楽しく仕事ができる職場環境をつくる。
- ・同僚生を高め、学校全体で個々の資質・能力を高める。
 - * 「報告・連絡・相談」
 - * 「業務の平準化（働き方改革）」
 - * 「石川県教員育成指標」「若手教員育成プログラム」「石川県教員研修計画」

【保護者・地域との絆】「社会に開かれた教育課程」のマネジメント

- ・「家庭」「地域」と連携し、生徒の「生きる力」（人間力・逞しさ）を育成し、地域のための学校をめざす。
- ・学校の課題を共有し、共に解決していく。
 - * 「地域の人材、施設、自然を生かしたふるさと学習」
 - * 「自信・自己肯定感の向上」
 - * 「情報化社会への対応」（リテラシー、ゲーム・ネット使用の自己コントロール）

【安心して学べる学校】すべての学校運営の基盤

- ・「令和の日本型学校教育」の構築を目指す。
（「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実）
- ・生徒指導主事に情報が集約され、生徒指導主事が中心となり機能する「生徒を主語にした生徒指導体制」を確立する。
- ・「危機管理意識」を高め、問題の未然防止に努める。
（ヒヤリハットの低減、感染対策の徹底、防災への対策）
- ・「道徳」と「特別活動」に力を入れ、一人一人の居場所のある「楽しい学校づくり」を推進する。
- ・体験活動や総合的な学習の時間を活用して、教科横断的な学びを推進する。
- ・「授業規律」を共通して徹底する。
- ・業務の効率化を推進し、子供と向き合う時間の確保に努める。
- ・各種法令・規則・ガイドライン等の順守。

【大切にしたい3つのこと】～生徒と共に～

- 1 「命」を大切にする。
- 2 「生きる力」を養う。
- 3 「粘り強く」チャレンジする。